

	氏名	職名	所属	係・講座	研究分野
1	クダ ケイコ 久家 慶子	教授	理学研究科	地球惑星科学専攻 固体地球物理学講座	地震学 ・地震の物理、地球の内部構造 ・地震波のデータ解析、数値シミュレーション
2	ナリキ メグミ 成木 恵	准教授	理学研究科	物理学・宇宙物理学専攻	ハドロン物理学、原子核物理学に関する実験的研究
3	シミズ イチコ 清水 以知子	准教授	理学研究科	地球惑星科学専攻 固体地球物理学講座	固体地球科学(岩石力学、熱力学、高温高圧実験)
4	アキヤマ チュウメイ 秋山 秋梅	准教授	理学研究科	生物科学専攻 動物科学講座	分子生物学、分子遺伝学、生化学、放射線生物学 放射線や活性酸素によるDNAの損傷とその修復、突然変異の生成と抑制、および酸化ストレス防御機構について研究しています。大腸菌、線虫、ヒト培養細胞を用いて分子生物学、生化学、遺伝学、細胞生物学の側面から研究を行っています。 日本語、中国語でのご相談をお受けできます
5	アサイ アユミ 浅井 歩	准教授	理学研究科	附属天文台	太陽物理学。太陽表面で発生するさまざまな磁気プラズマ活動現象とそれらの地球への影響(宇宙天気)について、観測的な研究を行っています。
6	ウダカ ヒロコ 宇高 寛子	助教	理学研究科	生物科学専攻 動物科学講座	動物生理学・生理生態学・分子生物学 主に昆虫やナメクジを対象として、無脊椎動物がどのように季節変化を生き延びているのかそのしくみについて研究しています。
7	タムラ ケイコ 田村 恵子	教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 臨床看護学講座	・がん看護 特にホスピス、緩和ケア、EOLケアについての看護に関すること ・看護における倫理 臨床倫理、倫理的ジレンマの解決に向けての取り組み
8	ニシ カズコ 任 和子	教授	医学研究科	人間健康科学系専攻 臨床看護学講座	看護学 ・人と対象とした臨床看護研究 ・糖尿病、心不全、リウマチなど慢性疾患をもつ人の看護 ・チーム医療 ・看護管理学
9	タケノウチ サヤカ 竹之内 沙弥香	准教授	医学研究科	人間健康科学系専攻	看護倫理、意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニング、エンド・オブ・ライフ・ケア/緩和ケアに関する看護倫理及び看護師教育、臨床倫理、研究倫理
10	ニシヤマ チカ 西山 知佳	准教授	医学研究科	人間健康科学系専攻先端中核看護科学講座	救急蘇生、クリティカルケア看護学、心肺蘇生教育 一人でも多くの心停止患者が救われるように、一般市民に対する心肺蘇生の普及教育に関する研究を行っている。特に、学校での心臓突然死の予防、心肺蘇生を含めたいのちの教育を普及させたいと考えている。 蘇生を含めたいのちの教育を普及させたいと考えている。
11	ナルセ チエ 成瀬 智恵	准教授	医学研究科附属動物実験施設		ヒト疾患モデル動物の作製、病態の解析、特にエピジェネティック因子、糖鎖修飾関連遺伝子の機能解析
12	キン ミスズ 金 玖秀	准教授	医学研究科	医学教育・国際化推進センター	分子生物学・感染生物学 細菌感染症や癌における蛋白質修飾系の分子機構の解明及び創薬研究
13	コンドウ ヨシコ 近藤 祥子	講師	医学研究科	人間健康科学系専攻 先端広域看護科学講座 看護助産学分野	看護学、助産学。女性の健康、メンタルヘルス。助産師。 元分子生物学系のポスドクとしてキャリア形成に悩み分野変更した経緯がありますので広くご相談を受けられると思います。 また、助産師として日本における不妊治療や出産・育児を取り巻く状況についてもお話できるかと思います。
14	オカハシ サヤカ 岡橋 さやか	助教	医学研究科	人間健康科学系専攻 作業療法学講座	作業療法士としての臨床経験を活かしリハビリテーションに関する研究に取り組んでいます。VR/ARなどの先端技術を用いて、医療現場を変える新たな検査・トレーニングツールの開発とその効果を検証する臨床研究を行っています。記憶や注意力等の認知機能や、上肢や手の運動・感覚機能など、あらゆる人の日常生活に密着した側面にアプローチしています。医工連携での学術研究のみならず、産官学連携によるニーズ発掘から製品開発までのプロジェクトにも参画しています。
15	ナカジマ タカコ 中島 貴子	教授	医学部附属病院	次世代医療・iPS細胞治療研究センター (Ki-CONNECT)	がんや難病の根治を目指した超早期探索的臨床試験、トランスレーショナル・リサーチを立案・実施しています。
16	マツムラ ユミ 松村 由美	教授	医学部附属病院	医療安全管理部	医療安全、ヒューマンエラー、ガバナンス
17	ミナミグチ サチコ 南口 早智子	准教授	医学部附属病院	病理部	・診断病理学 婦人科腫瘍(特に絨毛性疾患) 胎盤病理 細胞診(EUS-FNA、子宮頸部、尿) ・免疫組織化学(診断に有用な抗体パネル)
18	ムラタ ユズエ 村田 楯	助教	医学部附属病院	先端医療研究開発機構/心臓血管外科	ヒトiPS細胞から心臓を構成する細胞を分化誘導し、それらを用いてヒトの心臓組織を完全に模した3Dマイクロ心臓組織を形成し、再生医療や創薬研究への応用することを目指しています。
19	イケダ カオリ 池田 香織	助教	医学部附属病院	糖尿病・内分泌・栄養内科	糖尿病・内分泌・栄養学 糖尿病の診療の中で生じる様々な疑問について、患者さんや病気の無いボランティアの方を対象として研究させていただいています。薬剤の効果、食事の吸収・代謝、活動の多寡、行動変容の動機など、多くの側面をもつのが糖尿病の特徴で、それぞれについて研究しています。
20	カウ カリン 加藤 果林	助教	医学部附属病院	医療安全管理部/麻酔科	大学院では周術期の感染について研究しました。 現在は麻酔科医として働きつつ、周術期の感染、ペインクリニック、漢方医学について興味を持ち、学んでいます。

21	イトウ 伊藤 美千穂	准教授	薬学研究科	薬科学専攻 薬品創製化学講座	生薬学・薬用植物学 特に、香り成分の生合成(遺伝子クローニングや機能探索)研究香り成分の生薬薬理学的研究生薬のレギュラトリーサイエンスに関する研究、薬用植物の栽培研究など。 かつては民間伝承薬についての海外調査研究も行っていましたが、いまは研究室の体制が整わず、一時中断状態です。
22	シン 申 恵媛	准教授	薬学研究科	薬科学専攻 生体情報薬学講座	分子細胞生物学、生化学 主に動物細胞を用いて細胞機能における様々なタンパク質や脂質の制御機構の研究をしています。
23	ヒグチ 樋口 ユリ子	准教授	薬学研究科	薬学専攻 薬品動態医療薬学講座	・薬学(薬剤学,ドラッグデリバリーシステム開発) ・生体医工学(細胞製剤,再生医療) ・intravital蛍光イメージング キーワードを並べると上記になります。薬学部と工学部の融合分野の様な位置付けです。
24	ソウ 宗 可奈子	准教授	薬学研究科	総合薬学教育開発センター	薬理学、医療薬学 がん化学療法における味覚障害のメカニズム解析 臨床での問題を基礎研究で解決するリバーストランスレショナルリサーチを目指して研究を行っています。
25	ヒロヤマ 平山 朋子	教授	工学研究科	機械理工学専攻 機械力学講座	機械工学分野において、機械要素の高性能化やその基礎研究である摺動面のトライボロジー性能の向上に関する研究に取り組んでいます。
26	シマダ 島田 ヨウ子	准教授	工学研究科	都市環境工学専攻 環境システム工学講座	環境リスク工学 有害化学物質、有害重金属および放射性物質の環境中挙動の解析
27	ランデンバーガー キラハス	講師	工学研究科	高分子化学専攻	リビングカチオン重合を利用し、刺激応答性または機能性ポリマー材料の創造および分析
28	クヤマ 栗山 怜子	助教	工学研究科	機械理工学専攻 熱材料力学研究室	近年、電子機器の集積化や産業機器の小型化に伴い、小型熱交換器の性能向上が求められています。また、高度医療技術分野においても、 μ -TAS(マイクロ化学分析システム)に代表される検査・治療用診断システムの超小型化も提案されています。しかし、機器の超小型化にはいろいろな技術的問題点があり、単純に実現できるとは限りません。私の所属する熱材料力学研究室ではこれらの機器の実現に向けて主に熱工学・流体工学分野における基礎研究や技術開発を行っています。 私自身としては、学生時代よりマイクロ・ナノスケールにおける熱流動現象の計測・解明・制御を目的とした研究に従事してきました。特に現在は、光(蛍光やラマン散乱光、エバネッセント光など)を利用した熱流動計測や物質輸送制御、光レオロジー流体を用いた伝熱促進技術の開発などに取り組んでいます。
29	ナムラ 名村 今日子	助教	工学研究科	マイクロエンジニアリング専攻 マイクロ加工システム分野	ナノ構造薄膜、マイクロ流体駆動 光を熱に変換できる薄膜を使って、少量の流体をかき混ぜる研究をしています。 目で見るとは少し小さいくらいのもので遊ぶのが好きです。
30	キタジマ 北島 薫	教授	農学研究科	森林科学専攻 森林管理学講座	熱帯林環境学、植物生態学、保全生態学、特に熱帯林植物種の生活史戦略、実生更新、機能形質多様性、及び、形質を通しての生態系機能の理解についての研究
31	ウメツ 梅津 千恵子	教授	農学研究科	生物資源経済学専攻 国際農林経済学講座	環境資源経済学、応用ミクロ経済学をベースにした理論と実証研究、トルコにおける温暖化と水利用、農業セクターの生産性分析、アフリカ農村世帯のレジリエンス、財産区と地域の資源管理
32	シモノ 下野 嘉子	准教授	農学研究科	農学専攻 雑草学分野	雑草学、植物生態学、外来植物の侵入・分布拡大、人為的攪乱地への植物の適応
33	キトウ 鬼頭 弥生	講師	農学研究科	生物資源経済学専攻 農企業経営情報学講座	フードシステム論、意思決定論、消費者行動論、リスク認知研究。 生産から消費までのフードシステムの各主体の認知や意思決定、行動に焦点を合わせた研究を行っています。とくに消費者の食品選択行動や風評行動の背景にあるリスク認知・態度、リスクコミュニケーションの問題を扱っています。 また、地域に根ざしたフードシステム存続の問題を検討することを目指して、生産・流通段階の意思決定問題も扱っています。
34	ダンノウラ 檀浦 正子	助教	農学研究科	森林科学専攻	・森林生態学 森林生態系の炭素循環、特に樹木根の役割、師部を介した炭素配分などについて研究しています。
35	ヨシナガ 吉永 直子	助教	農学研究科	応用生命科学専攻 応用生化学講座	応用生命科学専攻化学生態学分野 有機化学・分析化学 農業、昆虫-植物間相互作用、昆虫の解毒代謝研究
36	オチアイ 落合 久美子	助教	農学研究科	応用生命科学専攻	植物栄養学
37	フナビキ 船曳 康子	教授	人間・環境学研究科	共生人間学専攻 認知・行動科学講座	こころの発達、精神医学、メンタルヘルス、子どものこころ、発達行動学 背景:京大医学部(H8年卒)→Caltech留学→学振特別研究員→京大精神科医(助教)→人環教員
38	シミス 清水 扇丈	教授	人間・環境学研究科	数理科学講座	解析学、特に偏微分方程式論
39	ハタノ 幡野 恭子	助教	人間・環境学研究科	相関環境学専攻 自然環境動態論講座	研究分野:植物細胞生物学 内容等:緑藻や植物の形態形成機構に関する研究、教養教育のための教材開発
40	フジイ 藤井 悠里	助教	人間・環境学研究科	相関環境学専攻 自然科学系	惑星科学・宇宙物理学・天文学 惑星や衛星が生まれる環境や形成過程について理論的に研究しています。海外でのポスドクの実験があります。

41	ウエダ キミ 上田 樹美	助教	エネルギー科学研究科	国際先端エネルギー科学研究教育センター	・環境配慮行動の促進 ・異文化コミュニケーションの誘発 等
42	ナン ジンミン 南 雄哉	准教授	生命科学研究科	高次生命科学専攻 ゲノム生物学講座	分子生物学、細胞生物学 がん微小環境のリモデリングとがん悪性化に関わる分子メカニズムの研究
43	ヤマシロ サワコ 山城 佐和子	講師	生命科学研究科	高次生命科学専攻 分子動態生理学分野	細胞生物学、細胞内蛍光1分子イメージング。 博士号取得後、アメリカでポスドク経験があります。留学や、海外・異文化での生活について、ご相談を伺えると思います。
44	ウエダ カヨ 上田 佳代	准教授	地球環境学	地球益学廊	疫学、環境疫学 大気環境が健康に及ぼす影響について明らかにするために、人のデータと環境のデータを結合させて、研究しています。 環境疫学では、異なる分野の研究者同士で研究を行うことが多く、その研究実施の調整役になることも多いです。
45	アサリ ミスズ 浅利 美鈴	准教授	地球環境学	地球益学廊	これまでは環境工学分野で廃棄物問題 循環型社会の構築、大学の環境管理システム構築などについて研究してきましたが、昨年からは環境教育 専門となりました。 途上国における環 問題や地域における環境教育についても、研究・活動に取り組んでいます。
46	ホンダ アキコ 本田 晶子	助教	地球環境学	地球益学廊	環境毒性学 環境汚染物質が人体に及ぼす影響を培養細胞や動物を用いて実験的に評価しています
47	タケウチ ユウコ 竹内 祐子	助教	地球環境学	資源循環学廊	森林に関わる微生物、特に植物寄生線虫による森林流行病の発病メカニズムに関する研究を行っています。
48	イマニシ ミキ 今西 未来	准教授	化学研究所	生体機能設計化学研究領域	薬学部出身で、研究室は薬学の協力講座です。 生体関連化学 拡散結合タンパク質の機能解析やデザインに関する研究をしています。
49	コバヤシ タエコ 小林 妙子	助教	ウイルス・再生医科学研究所	ウイルス・再生医科学研究所	大人の脳の中の神経幹細胞の研究をしています。 バックグラウンドは生化学で、分子生物学、細胞生物学、発生生物学、遺伝学、神経科学などの手法を用いて研究を行っています。 夫が単身赴任で二人の娘を育てています。家庭と研究の両立について等、一緒に考えることが出来ればと思います。
50	セキグチ ハルコ 関口 春子	准教授	防災研究所	社会防災研究部門	強震動地震学 大地震の震源過程解析、地震時の地盤応答解析、地下構造モデル化、地震動予測
51	キナン ユウコ 木梨 友子	准教授	複合原子力科学研究所	原子力基礎工学研究部門	放射医学分野 原子力中性子を用いてホウ素中性子捕捉療法に携わってきました。研究内容はホウ素中性子捕捉療法の治療効果向上のための放射線生物研究です。 医師免許、放射線取扱主任者第1種免許を持っています。
52	カヅラ ユカ 桂 有加子	助教	霊長類研究所	ゲノム細胞研究部門 細胞生理分野	進化遺伝学 性染色体の分子進化、霊長類の精巣発現遺伝子の解析
53	サカイ ショウコ 酒井 章子	教授	生態学研究センター	生態学研究部門	植物生態学、とくに被子植物の繁殖 生態系サービスなど人と生態系の関わり
54	ムラヤマ ミホ 村山 美穂	教授	野生動物研究センター	人類進化科学研究部門	野生動物の保全遺伝学、動物行動の遺伝的背景の解明
55	イシハラ マサエ 石原 正恵	准教授	フィールド科学教育研究センター	森林生態系部門	研究分野:森林生態学 樹木の繁殖や成長に関する研究。野外の多地点長期データを用いた多様性や森林の物質生産の変動に関する研究。生態系サービス評価。気候変動や分断化に対するブナ林の脆弱性評価。
56	ヘンミ ユミ 遠見 由美	助教	フィールド科学教育研究センター	里域生態系部門	共生生態学。 特に無脊椎動物の巣穴を介した住み込み共生に着目し、宿主甲殻類の生態や共生者の進化と適応について研究しています。
57	フカザワ アイコ 深澤 愛子	教授	高等研究院	物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	構造有機化学・有機合成化学・典型元素化学 有機化合物、特に共役電子系の分子構造が物性をいかに決定づけるかを理解し、独自の分子設計と合成化学をもとに新しい光・電子機能性材料の開発に取り組んでいます。
58	ケンガク ミネコ 見學 美根子	教授	高等教育院	物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)	神経科学、発生生物学、細胞生物学
59	ニシオカ テフミ 西岡 千文	助教	附属図書館	研究開発室	情報学、図書館情報学
60	オカバヤシ サトエ 岡林 里枝	助教	環境安全保健機構 健康科学センター	健康管理部門	人間集団を対象とする疫学研究、臨床研究 ・プライマリヘルスケア、予防医療等に関する、ランダム化比較試験 ・高齢者やがんのコホート研究 などを行ってきました。
61	ナカガミ ユカ 中神 由香子	助教	環境安全保健機構 健康科学センター	健康管理部門	精神医学全般 ・身体疾患との関わり 身体疾患と精神症状の関係、器質性精神障害、神経免疫学 ・社会との関わり 精神疾患に対するスティグマ、自殺予防、メンタルヘルスの啓発